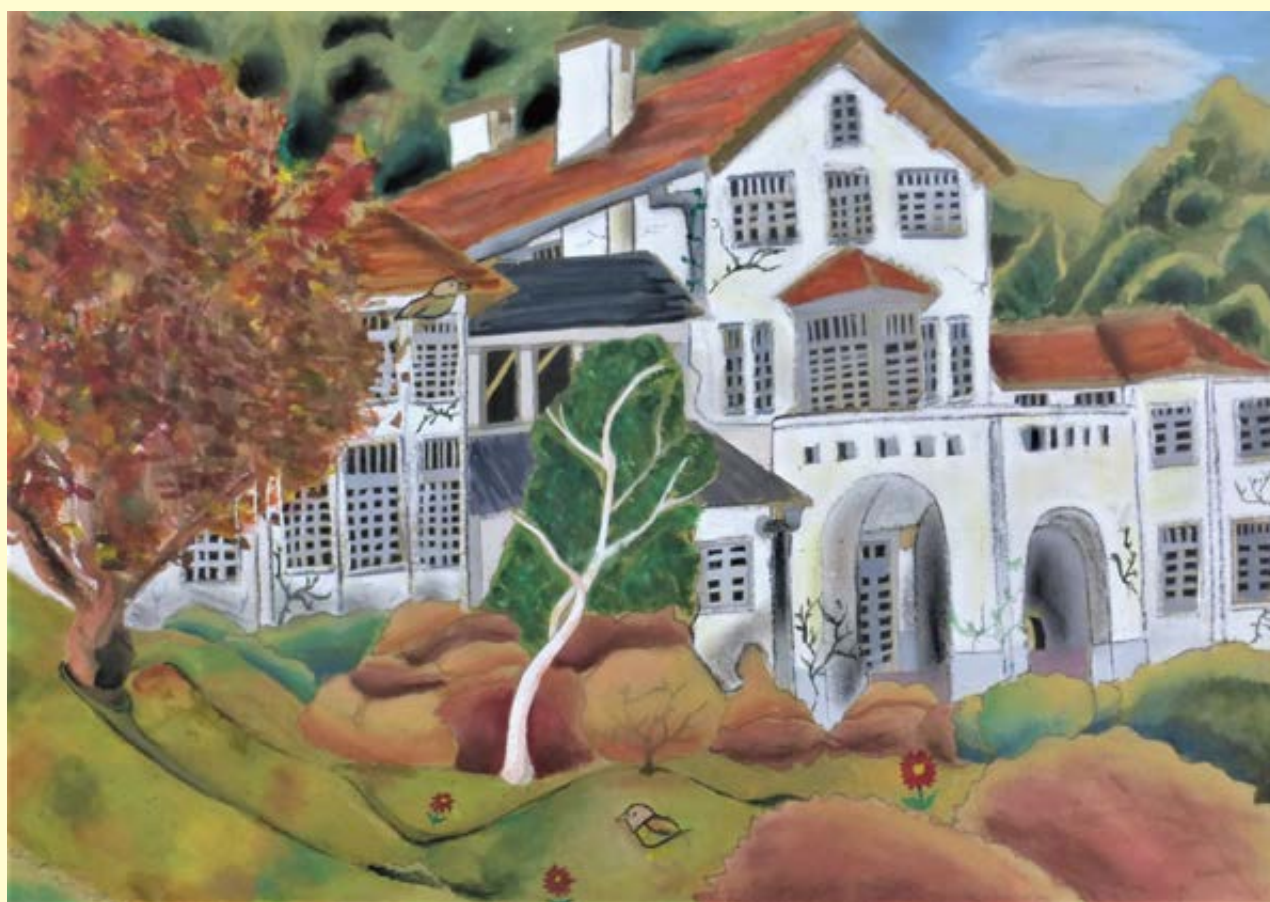


「特別の教科 道徳」の指導と評価、 学校の教育活動全体で行う道徳教育の 充実のための情報が満載！



詳細は、県教育委員会、県総合教育センター HP で閲覧することができます。

発達段階に応じた道徳教育の実践

文部科学省・滋賀県教育委員会「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」推進地域・推進校の実践を凝縮して掲載しています。

(詳細はHPで)



幼稚園

大津市立晴嵐幼稚園



道徳性の芽生えを育む工夫
幼児が他の幼児とのかかわりの中で、葛藤やつまずきを体験することで育まれます。



小学校

湖南市立菩提寺小学校



各教科等と関連をもたせた指導
各教科等と道徳科それぞれの特質が生かされた関連を図ることが大切です。

草津市立南笠東小学校



ねらいに応じた多様な指導方法の工夫
教師が多様な指導方法を理解し、児童生徒の発達段階を捉え、吟味した上で生かすことが大切です。

草津市立新堂中学校



高島市立高島小学校



児童生徒の内面的な自覚を促す指導方法の工夫
児童生徒が道徳的価値を自覚できるよう、指導方法の工夫に努めることが大切です。

高島市立高島中学校



中学校



湖南市立甲西北中学校



生徒の発達や個に応じた指導の工夫
年齢相応の発達段階、一人ひとりの考え方や感じ方を大切に授業展開が大切です。

高等学校

県立大津高等学校



生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探究する指導の工夫
人間としての在り方生き方に関する教育は、学校の教育活動全体を通じて実施します。



詳しくは、
本編を見てね！

令和元年度道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業推進地域・推進校

- 草津市立南笠東小学校 草津市立新堂中学校
- 湖南市立菩提寺小学校 湖南市立甲西北中学校
- 高島学園（高島市立高島小学校・高島市立高島中学校）
- 滋賀県立大津高等学校
- (実践掲載) 大津市立晴嵐幼稚園

道徳教育研究発表大会で公開された授業一覧（指導案は、QRコードから参照できます。）

学校名	学年等	内容項目	教材名（主題名）出典
草津市立南笠東小学校	3年	A 善悪の判断、自律、自由と責任	言い出せなくて（いやだと言えるように）学研教育みらい
草津市立新堂中学校	1年	D よりよく生きる喜び	いつわりのバイオリン（人間として生きる喜び）日本文教出版
	2年	D よりよく生きる喜び	足袋の季節（強く気高く生きる）日本文教出版
湖南市立菩提寺小学校	特別支援		自立活動「おめでとう、ありがとうの会」で感謝と自分のこれからの気持ちを伝えよう
	2年	A 正直、誠実	みかんの木の寺（明るい気持ち）学研教育みらい
	4年	A 希望と勇気、努力と強い意志	岩根山を緑の山に きょう土のい人 藤兵衛さん（やりとげるひたむきな心）湖南市郷土資料集
	5年	A 善悪の判断、自律、自由と責任	うばわれた自由（自由に、規則正しく）学研教育みらい
高島学園 (高島市立高島小学校) (高島市立高島中学校)	1年	B 親切、思いやり	ぼくの はな さいたけど（思いやりの心）東京書籍
	4年	C 規則の尊重	雨のバスでいりゅう所で（社会の決まりを守って）東京書籍
	6年	C よりよい学校生活、集団生活の充実	小さな連絡船「ひまわり」（人々のために尽くす）東京書籍
	7年	B 思いやり、感謝	思いやりの日々（その人が本当に望んでいること）東京書籍
	8年	D よりよく生きる喜び	本当の私（人間の強さ・気高さ）東京書籍
9年	C よりよい学校生活、集団生活の充実	受けつがれる思い（伝統を創るもの）東京書籍	

道徳教育 充実のポイント

①学校、各学年の道徳教育の重点目標の明確化

学校、学年の実態から重点内容項目を設定し、共通理解を図る。

校長のリーダーシップのもと、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を確立します。

②道徳教育の確実な実施

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動などにおける指導の方針、内容および時期を、道徳教育全体計画別葉に明示し、確実に実施する。

まずは学校の重点内容項目について具体的な計画を立てて実施、見直しを行いながら、他にも指導が可能なものについて別葉に追加していきます。

③家庭や地域社会との連携

道徳科の授業公開、ゲストティーチャーとして地域人材の活用、道徳教育の講演会の開催等により、家庭や地域社会との連携、協力を図る。

県教育委員会では、「心の元気さんプラン」を策定し、①道徳科におけるゲストティーチャーの活用②道徳科の授業公開③道徳教育の研修会を実施することとしています。

参考資料

道徳科指導案の様式
(参考例) を掲載。



活用してね!

道徳科の評価について、
重視する点や評価の
例を記載。

資料1 道徳科学習指導案の様式(参考例)

第〇学年 道徳科学習指導案

日時: 年月日〇校時
学級: 〇年〇組教室〇名
授業者: 職・氏名

- 1 主題名「〇〇〇〇」<内容項目>**
※道徳科の年間指導計画における主題名を記載する。道徳科の主題は、指導を行うに当たって、何をねらいとし、どのように教材を活用するかを構想する指導のまとまりを示すものであり、「ねらい」をそれを実現するために活用する「教材」によって構成される。
- 2 教材名「〇〇〇〇」(出典:)**
- 3 主題設定の理由**
 - (1) ねらいとする価値について(価値観)**
ねらいや指導内容についての教師の捉え方
 - (2) 価値に関わる児童・生徒の実態について(児童・生徒観)**
(1) に関連する児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い
 - (3) 教材について(教材観)**
使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法
※記述に当たっては、児童生徒の肯定的な面やそれをさらに伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方を心掛けるようにする。また、抽象的な捉え方をすることはなく、児童生徒の学習場面を予想したり、発達の段階や指導の流れを踏まえたりしながら、より具体的に積極的な教材の生かし方を記述するようにする。
- 4 本時のねらい**
※本時で特にどのような道徳性(心情・判断力・実践意欲・態度)を育てたいのかを記述する。
- 5 本時の学習指導過程**
※一般的には、導入・展開・終末の各段階に区分し、児童生徒の学習活動、主な発問と予想される児童生徒の発言、指導上の留意点、指導の方法、評価などを指導の流れに即して記述することが多い。

学習活動・主な発問	予想される児童生徒の思い	教師の支援・留意点(評価・方法)
※学習指導過程は、 1(導入) 2(展開前段) 3(展開後段) 4(終末)の4つとなる場合が多い。	※予想される発言を分類して書く。 ※記述された発言から本時のねらいが達成されるか検討する。	※「～としたい」という願いだけでなく、具体的な手立てを明記する。 ※評価する場面と評価方法を書く。(例:ワークシートへの記述)



ねらいに即して問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習など、多様な方法を取り入れ、指導を工夫することが大切です。また、学びを深める手立てとして、切り直し発問や意図的指名などを取り入れることも重要です。

資料2 道徳科の評価について

道徳科の評価に関する基本的な考え方(学習指導要領解説より)

・授業において児童(生徒)に考えさせることを明確にして、「道徳的諸価値についての理解を中心に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間として)の生き方についての考えを深める」という目標に掲げる学習活動における児童(生徒)の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、児童(生徒)が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取ることが求められる。

・年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、児童(生徒)の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する必要がある。・・・(A)

・評価に当たっては、特に、学習活動において児童(生徒)が道徳的価値やそれらに関する諸事象について他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが重要である。・・・(B)

具体的には・・・



(B)

一面的な見方から多面的・多角的な見方への発展

Gさんは、親切は相手の立場に立つことが大切であると考えていました。
→Gさんは、本当の親切とはどのようなことかを自分の立場と相手の立場を比べながら考えていました。

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める

Hさんは、生命の大切さを真剣に受け止めていました。
→Hさんは、教材の話と祖父のことを重ね、生命は唯一無二のかけがえのないものであることを実感していました。



道徳科においても、学習評価の妥当性、信頼性等を担保することが重要です。そのためには、評価は個々の教師が個人として行うのではなく、学校として組織的・計画的に行われることが重要となります。



その他、参考資料として、
・推進地域、企業の取組
・県小中学校教育研究会道徳部会の実践
等を掲載。

